

表4

表1



■発行元／釧路市 ■監修／一般社団法人 阿寒アイヌコンサル ■イラスト制作者／井上 綾子
■発行年月／令和5年3月

このパンフレットは、国のアイヌ政策推進交付金を活用し、釧路市の委託により制作しています。



阿寒湖原産

ヒメマス祭の始まり

昔からアイヌの人々にとって大切な食糧だったカパチェブ。

その恵みに感謝し、新たな阿寒湖のアイヌ儀式として

「阿寒湖原産ヒメマス祭〜カパチェブノミ〜」が、2017年より毎年開催されています。

アイヌ文化と共に様々な方に知って頂きたいという思いから、このBookletを制作しました。

2021年にvol. 1、今回のvol. 2、2024年以降にvol. 3までの制作を予定しております。

ぜひ3冊集めて、アイヌ文化に触れてみてください。

昔は、冬にも氷の張らない穴
ト・シンブイ(湖の井戸)から
釣って食べていました。

夜明けに
よく釣れるのだ!!



アイヌと ヒメマスの 歴史

元々は北洋の紅マスが湖に陸封され、淡水魚になったものであるというのが、古老達の話ではコタンカラ・エカシ(国造りの長老)から貰ったものであるといわれ、阿寒ではこの魚をサケと同じようにカムイ・チェブ(神魚)と呼んでいる。

秋に産卵のために川に上る頃になると、チェブコイキ・エクトシ・カムイノミ(魚を獲ろうとする前の祭)と言って、火の神に祈願をしてから川にデシを立て、その両側と真中に木幣を3本立てて、デシの下に群来する魚をタモで丸木舟にすくい上げる。こうして最初に獲れた魚は盆にあげて火の神に供え、礼拝をしてから腹の部分の部分を切って火の中に入れ、焼きながら国造りの長老に届けるように頼み、その骨は赤い椀に入れておいて祭壇に納める。こんなに丁寧に扱うのは、阿寒湖ではこの魚が最も重要な食糧であったからである。

(引用:コタン生物記Ⅱ 更科源三、更科 光 著)

ヒメマス祭の動画をCheck!

URLはこちら <https://www.youtube.com/watch?v=9QJ5lhb-JiM>



阿寒湖の自然の
神々への感謝の儀式を
見てみよう!



スマホから
簡単
アクセス!!



ヒメマス祭 〜カパチェブノミ〜

■開催時期/例年7月第1土曜日(開催予定)

■開催場所/阿寒湖岸駐車場内特設会場

POINT!!



ヒメマスについて

元来、阿寒湖の特産であったヒメマスは、支笏湖に移植され、さらに青森の十和田湖に移されました。アイヌ語のカパツ・チェブ(カバル・チェブで薄い魚の意。ヤマベと比較して薄いから)が、支笏湖ではチップ(舟)と訛り、十和田湖ではカバチと呼ばれています。自然からの貴重な恵みであるヒメマスは、毎年稚魚を放流するなど厳格に資源管理がなされています。

ヒメマス おすすめの食べ方

●刺身 ●焼き魚 ●お味噌汁!
玉ねぎとじゃがいもを入れた
お味噌汁は絶品です!!



絶品!!

ヒメマスは阿寒湖漁業協同組合で販売しています。

お問い合わせ 阿寒湖漁業協同組合

〒085-0467 北海道釧路市阿寒町阿寒湖温泉2丁目7番2号
TEL.0154-67-2750 FAX.0154-67-2830

<https://www.akan-gyokyo.com/>

スマホから
簡単
アクセス!!



アイヌの衣服

古の時代、アイヌの人々は生活する範囲の中で手に入れることのできる素材を用いて日常生活に必要なものを作りました。

なかでもその代表的な衣服には、動物の皮や植物繊維を使ったもの、そして交易で手に入れた木綿を使ったものがあります。

木綿の布に、糸あるいは布で独特の文様が施された木綿衣はアイヌの衣服の中で最も身近なものです。

儀式の際の主な衣装



男性

1. パウンベ
2. チンパオリ
3. エムシアツ
4. エムシ
5. アミブ

1. 木の削りかけで作られる冠。
2. 元々侍が戦の時に鎧の上に着ていたものが北海道に持ち込まれ、やがてアイヌも儀礼等で着るようになった。
3. エムシを支える帯。樹皮糸と染めた糸で編み、模様を作る。
4. 交易で手に入れた宝物。強い力を持つと考えられ魔払いの踊りにも使われる。

女性

5. 樹皮衣や木綿衣などがある。手の込んだ刺繍をしたものは晴着として儀礼の時に用いる。オヒョウニレの樹皮で作った着物をアットゥシと呼ぶ。他にシナ、イラクサなどもよく使われる。

6. ハチマキ状の布に刺繍をしたもの。髪押えの役割がある。
7. 真鍮や銀製のものが多い環状の装身具。昔は耳たぶに空けた穴に通していたが、今はマタンブシに縫い付けて身に着けたりすることもある。
8. 細い帯状の黒布などに飾り小板を縫い付けたもの。刺繍や古銭などで装飾している。
9. 交易で手に入れたガラス玉を連ねて作られている。下端にシトキと呼ばれる飾り板をつけたものもある。

6. マタンブシ
7. ニンカリ
8. レクトゥンベ
9. タマサイ
5. アミブ



アイヌの木綿衣



丁寧に施された美しい刺繍。アイヌの美意識を感じます。



ルウンベ

带状に切った布を縫い付けることで、道のように模様が続いているものです。



カバラミブ

カバラミブは大幅の白布に切り抜きの模様を作り、木綿の生地に張りつけた衣服です。



チチリ

チチリは切伏を置かず、唯一刺繍だけで模様をつくる木綿衣です。

アイヌの唄

アイヌのお祭りの最初などに大勢で座って歌う唄を〈ウボボ〉と言います。
円座を組んだ人々が、中央に置かれた行器(ほかい)(シントコ)のふたを軽く叩いて
拍子を取りながら、旋律を1拍ずつずらして歌い継ぐ、ウコウクという歌い方が特徴です。



前ページで紹介した着物たち。
全て手作りのアイヌの着物に注目して
ご覧ください!

♪座り唄
「イカムッカサンケ」の歌詞
♪イカムッカ サンケ
イサンケ イサンナ



日川 キク子 Kikuko Hikawa

アイヌ文化伝承者。北海道阿寒湖アイヌコタン在住。
阿寒アイヌを代表する、アイヌ歌謡の歌い手。母であるアイヌ歌謡の素晴らしい歌い手、故:日川キヨ子嬢の歌唱を受け継ぐ。キク子嬢が歌う、独特の揺らぎと節から生まれるその唄の響きは、古のウボボ(唄)そのままに、今を生きるアイヌウボボ界のレジェンド的な存在である。

https://www.youtube.com/watch?v=fJo_VYjYQLg&t=19s



鶴の舞 (サロルンリムセ)

サロルンカムイとはアイヌ語で鶴(湿原の神様)という意味です。
親鶴が子鶴に飛び方を教え、子鶴が段々と成長していく様子を表しています。
鶴の羽を大きく広げた優雅な舞と時々叫ぶ澄んだ裏声が美しい踊りです!

“鶴の舞”の
歌詞♪

フントリ フン
チカブ ア ホ ア
ホ ホイ ホ



演目に出てくる唄や踊りの詳しい説明は、
イコロの受付にて配布しております。
読んでから鑑賞すると理解が深まります!



阿寒湖アイヌ文化の発信拠点

プロジェクションマッピングと古式舞踊を
融合させた「ロストカムイ」や「火のカムイの詩」など、
多種多彩なアイヌ舞踊を鑑賞することが
できる劇場で、エンターテインメント
あふれる施設です。

スマホから
簡単
アクセス!!

お問
い
合
わ
せ

阿寒湖アイヌシアター「イコロ」

〒085-0467 北海道釧路市阿寒町阿寒湖温泉4丁目7番84号
TEL.0154-67-2727

<https://www.akanainu.jp/about/ikoro>



アイヌの伝承

文字による記録という習慣のなかったアイヌ民族は、口頭によって膨大な数の歌謡や物語を代々伝承してきました。



英雄叙事詩

地方によって、ユカラ、サコロベ、ハウキ等と称されます。炉縁等をレブニという拍子木で叩いてリズムを取りながら節をつけて語られます。

神謡

カムイユカラ、オйна、マツユカラ等と呼ばれています。動物や自然現象、様々な神様(カムイ)たちが主人公となり活躍する物語です。「サケヘ」という繰り返しを文に挟みながら、節をつけて語ります。

散文説話

ウェベケレ、トゥイタクとも呼ばれます。先祖から言い伝えられた物語で、日常に起こる様々な出来事を物語にして、節をつけずに語ります。

阿寒湖で多くの伝承と唄と語りを遺した人物

フチ【尊敬される煙(オウナ)】



四宅 ヤエ Yae Shitaku

1904(明治37)～1980(昭和55)年。昭和時代のアイヌ文化伝承者。北海道東部の町・白糠地方のアイヌ文化を幅広く伝承。晩年は阿寒湖畔で過ごし、後進の指導や研究者等の聞き取り調査などに協力し、アイヌ文化の振興・保存に大きく貢献した。

エカシ【尊敬される翁(オモシ)】



山本 多助 Tasuke Yamamoto

1904(明治37)～1993(平成5)年。昭和後期-平成時代のアイヌの長老。昭和21年に北海道アイヌ協会 釧路支部の初代支部長に選ばれる。アイヌ文化の継承、マリモの保護、ユウカラ座の旗揚げなどにつくした。

体験してみよう!!

夜の森歩きをしながら、アイヌの伝承に触れられるのは阿寒湖だけ!

カムイ・ルミナ

阿寒湖の森 ナイトウォーク

カムイルミナは毎年7月～11月頃まで開催されています!



リズムスティックと連動した新しいデジタル体験、美しい阿寒湖の森に施されたライティング、自然の中に溶け込むサウンド、そしていくつものプロジェクションマッピングを駆使して蘇る阿寒湖に伝わるアイヌの物語。さあ、登場するキャラクターと心を通わせ、物語を進めるのはあなたです!

POINT!!

歩きやすい服装で参加しよう!



伝承を聞いてみよう!

四宅 ヤエ フチの遺した物語と唄が聞けるのはこのイベントだけです!

お問い合わせ

阿寒アドベンチャーツーリズム株式会社
〒085-0467 北海道釧路市阿寒町阿寒湖温泉2丁目6-20
TEL0154-65-7121 FAX0154-67-3024
<https://www.kamuylumina.jp>



カムイニ (神の木)

魔よけやお守りとなるアイヌ文様を施した柱状の木造彫刻「カムイニ(神の木)」。
阿寒湖畔でカムイニが制作されるようになったのは、同地区のアイヌ民族が1980～90年代、
訪問先のカナダで先住民族が立てていたトーテムポールを目にし、
似たような柱状の大型木彫を作るようになったのが始まりという。
釧路市の姉妹都市カナダ・バーナビー市には、床(とこ)ヌプリさんが造った
神の木群からなるカムイニがあります。



映えるね ♪



映えスポット! 写真を撮るならココ!

阿寒湖でカムイニが見られるおすすめスポット!!
記念写真を撮るなら映えスポット「アイヌコタン」!
ゆっくり癒やされるなら、次ページの足湯「ウレ・カリブ」!

CHECK!!



カムイニのある足湯温泉 (ウレ・カリブ)

アイヌ語でウレ=足、カリブ=輪という意味。カリブはマリモの丸い姿(輪)を
表すだけでなく、足湯に集まる人々の輪や子供たちの学びの輪をイメージし、
世界中の人々が足湯に集まり、繋がりが出来ていく場所にな
るように、という願いが込められています。



Wi-Fi完備の足湯! ゆっくり休むならここ!

パソコンやスマホを見ながら気軽に寛ぐことが
できるWi-Fi環境を整えた足湯施設です!
足湯向かいのBar de Panでは、テイクアウトは
もちろん、オリジナルの手ぬぐいも販売中です!



釧路市阿寒町阿寒湖温泉1丁目4-24

